

令和6年度 農林水産委員会 県内所管事務調査の概要

令和6年5月16日（木）

◆調査箇所：宇佐ジビエファクトリー（宇佐市院内町）

【概要】

宇佐ジビエファクトリーは、地元の猟友会会員と連携し、捕獲されたイノシシやシカの解体から食品加工までを徹底した品質・衛生管理により行い、安全・安心なジビエ肉を供給している。また、令和5年には日本ジビエアカデミーを開校し、県内外の多くの方が解体技術を学ぶなどジビエの振興、普及に大きく寄与している。

調査では野生鳥獣肉処理施設内を視察し、法人の概要やこれまでの取組等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・品質の個体差への対応について
- ・肉の買取価格について
- ・トレーサビリティの方法について

◆調査箇所：北部振興局、農林水産研究指導センター農業研究部水田農業グループ、水産研究部北部水産グループ、宇佐家畜保健衛生所

【概要】

北部振興局（管轄：中津市、豊後高田市、宇佐市）、農林水産研究指導センター農業研究部水田農業グループ、水産研究部北部水産グループ及び宇佐家畜保健衛生所における組織の概要や短期集中県域支援品目である白ねぎ・こねぎの生産拡大及び家畜伝染病予防の取組等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。

<主な質疑等>

- ・鳥獣被害のカウント方法について
- ・鳥獣被害に係る被害額について
- ・様々な作物の自給率を上げる取組について



◆調査箇所：国営かんがい排水事業駅館川地区（宇佐市中原）

【概要】

駅館川地区における国営かんがい排水事業は、令和9年度から実施予定であり、今年度から令和8年度までは全体実施設計による計画の精査を行うこととしている。

調査では平田頭首工を視察し、事業の概要等の説明を受けた。

<主な質疑等>

- ・取水ゲートの操作方法について
- ・取水量について
- ・受益面積について



◆調査箇所：災害関連緊急地すべり事業 梶ヶ原地区（中津市耶馬溪町）

【概要】

梶ヶ原地区では、平成30年4月に先行降雨や地震がない中で突然人家の裏山が崩れ、6名の尊い命が失われるなどの大規模な地すべりが発生した。その後、災害復旧工事を行い、現在は金吉川流域地区の治山事業を行っている。

調査では現地を視察し、事業の概要やこれまでの取組等の説明を受けた。

<主な質疑等>

- ・地下水の現在の状況について
- ・法面の植生について
- ・施工方法について



令和6年5月17日（金）

◆調査箇所：災害関連緊急治山事業 中山地区（日田市小野）

【概要】

中山地区では、令和5年7月10日の豪雨により山腹崩壊が発生し、人家への土砂流入や多量の土砂、流木が農地に堆積するなどの被害を受けた。

調査では現地を視察し、現在行われている治山事業の概要等の説明を受けた。

<主な質疑等>

- ・当該地区の土質について
- ・工期について
- ・周辺の圃場の復旧状況について



◆調査箇所：株式会社高瀬文夫商店（日田市東有田）

【概要】

株式会社高瀬文夫商店は、蒲鉾板等の製造を行っており、材料を外材から国産材にする取組、特にスギの大径材の活用などに取り組んでいる。また、近年はSDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向け、木製ストローやコップを開発するなど環境への配慮を含め、地域林業の振興に大きく寄与している。

調査では企業の概要や商品などについて説明を受けた。また工場内を視察し、製造工程や乾燥機等の説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・蒲鉾板の単価や需要について
- ・木屑の処理について
- ・一日当たりの生産量について

◆調査箇所：西部振興局、農林水産研究指導センター林業研究部、玖珠家畜保健衛生所

【概要】

西部振興局（管轄：日田市、九重町、玖珠町）、農林水産研究指導センター林業研究部及び玖珠家畜保健衛生所における組織の概要や水田の畑地化による高収益な園芸品目等への生産転換、大径材の活用と製材品の販路拡大、果樹や畜産の振興及び家畜伝染病予防対策の取組等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ 林業による地方創生の取組について
- ・ 西部地域のスマート農業の取組状況について
- ・ 中山間地域における農業振興の取組について

◆調査箇所：キャトルステーション（玖珠町大隈）

【概要】

子牛を預託することにより、品質向上や生産コストの抑制を実践し、肉用牛農家の経営安定を図ることを目的とする県内2か所目のキャトルステーションが今年4月玖珠町に開業した。

調査では施設を視察し、運営者である大分県農業協同組合西部営農経済センター営農部の職員から施設の設置までの経緯や整備内容、今後の取組などについて説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・ 地元農家の受止め状況について
- ・ 子牛を管理する職員の体制について
- ・ 全国のキャトルステーションの設置状況について

令和6年5月21日（火）

◆調査箇所：中部振興局、大分家畜保健衛生所

【概要】

中部振興局（管轄：大分市、臼杵市、津久見市、由布市）及び大分家畜保健衛生所における組織の概要や水田の畑地化による高収益な園芸品目等の導入推進、担い手の確保・育成の状況、水産業の振興、圃場整備や治山事業の状況及び病性鑑定の実績等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ 農産物の消費拡大の取組状況について
- ・ 園芸産地の規模拡大に対する支援について
- ・ 柑橘類の今後の取組について

◆調査箇所：大分県農協南部エリア野津かんしょ生産部会（臼杵市野津町）

【概要】

大分県農協南部エリア野津かんしょ生産部会は、葉たばこからかんしょへの転換にあたり、新規栽培者の掘り起こしと栽培者の増加に対応するための作業ポイントをまとめた栽培マニュアルの作成、栽培講習会の開催などに取り組んでいる。

調査では、生産部会がこれまで取り組んできた内容について説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・販売額の伸びの要因について
- ・収穫機の導入状況と補助率について
- ・青年部の状況について

◆調査箇所：農業水利施設保全合理化事業 提子井路3期地区（由布市挾間町）

【概要】

提子（ひさご）井路3期地区では、水利用・水管理の効率化や省力化、水利施設の安全性の向上を目的に水路トンネル工事を令和5年度から3か年の予定で実施している。

調査では水路トンネル内など現地を視察し、事業の概要や現在の進捗状況等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・これまでの水路改修について
- ・事業完成後の現況水路トンネルについて
- ・地元負担の割合について

令和6年5月27日（月）

◆調査箇所：佐伯広域森林組合（佐伯市宇目）

【概要】

佐伯広域森林組合では、地域の林業の歴史、森林資源の状況、森林所有者のメリットを考慮し、50年を伐期として、伐って、使って、植えて、育てることを指針とした佐伯型循環林業を推進している。佐伯型循環林業の取組を当該森林組合が森林所有者に対しワンストップで行うことにより、伐採時から再生林を意識した作業を実践することができ、地域林業の振興に大きく寄与している。

調査では、組合の概要や取組の状況等について説明を受け、敷地内を視察した。



<主な質疑等>

- ・佐伯型循環林業の今後の展望について
- ・輸出の状況と取組について
- ・組合員との関わり方について

◆調査箇所：渡辺水産有限会社（佐伯市蒲江）

【概要】

渡辺水産有限会社は、カンパチやヒラマサの養殖にいち早く挑戦し、養殖技術を習得するなど長きにわたりブリ類養殖を営んでいる。その技術をいかして平成30年からは県と連携し、かぼすヒラマサの生産を開始している。また、ブリの出荷端境期対策に向けた人工種苗を活用した試験養殖に取り組むなど地域の水産業振興に大きく寄与している。

調査では船上から養殖生簀を視察し、その後企業の概要や取組の状況等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・養殖における温暖化の影響について
- ・漁師の人数や漁協等の構成員の減少による影響について
- ・かぼす餌料について

◆調査箇所：大分佐伯ファーム株式会社（佐伯市蒲江）

【概要】

大分佐伯ファーム株式会社は、令和元年に設立し、農業参入した企業である。当該企業は長野県の菓子製造会社が設立し、県外から参入した事例である。栽培品目はレモンであり、令和6年3月までに約12ヘクタールに約7千本の植栽をしている。

調査では圃場を視察し、企業の概要とこれまでの取組内容、今後の展望等の説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・栽培しているレモンの種類について
- ・防除の内容について
- ・レモンの需要について

◆調査箇所：南部振興局、農林水産研究指導センター水産研究部

【概要】

南部振興局(管轄：佐伯市)及び農林水産研究指導センター水産研究部における組織の概要や特定家畜伝染病対策、佐伯型循環林業の推進、うまみだけの生産量確保、養殖業の生産体制の強化と販売促進、参入企業に対するフォローアップや農業農村整備事業の推進状況及び養殖技術に関する研究等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・県（振興局）と市との関わり方について
- ・企業による新規参入後の状況について
- ・貝毒プランクトンについて

令和6年5月28日（火）

◆調査箇所：農事組合法人いのうえ（豊後大野市緒方町）

【概要】

農事組合法人いのうえは、米、麦及び大豆の普通作物を中心としているが、令和5年度からは新たにかぼすの栽培に取り組んでいる。当該法人では、組合員へのアンケート結果を元に法人の今後のあり方の検討や人材確保育成計画の策定など活発な取組を進めており、かぼすの栽培は、その一つである。

調査では、法人の概要及びこれまでの取組や課題について説明を受け、意見交換を行った。その後、圃場を視察した。



<主な質疑等>

- ・かぼすの6次産業化による売上げについて
- ・集落排水の加入率について
- ・かぼす園地における植付けの間隔について

◆調査箇所：株式会社アグリ・プロデュース（竹田市中角）

【概要】

株式会社アグリ・プロデュースは、令和4年に農業参入し、県の短期集中県域支援品目である白ねぎの栽培に取り組んでいる。また、農地の集積時に耕作放棄地を耕起、管理するなど地域貢献にも取り組んでいる。

調査では企業の概要やこれまでの取組、今後の展望等について説明を受け、圃場を視察した。



<主な質疑等>

- ・収穫量向上のための方法について
- ・農地集積における耕作放棄地を管理するまでの課題について
- ・出荷先について

◆調査箇所：豊肥振興局、農林水産研究指導センター農業研究部、畜産研究部、林業研究部きのこグループ、農業大学校、豊後大野家畜保健衛生所、県央飛行場

【概要】

豊肥振興局（管轄：竹田市、豊後大野市）、農林水産研究指導センター農業研究部、畜産研究部、林業研究部きのこグループ、農業大学校、豊後大野家畜保健衛生所及び県央飛行場における組織の概要や園芸・畜産による生産拡大、担い手の確保・育成、林業・特用林産物の振興、鳥獣被害対策、ベリーの早期収穫量向上対策、肉用牛の成果及び農業大学校での教育・研修の状況等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・うまみだけの生産に係る問題点について
- ・中山間地における農業に対する今後の取組について
- ・県央飛行場での農作物の輸送について

令和6年5月31日（金）

◆調査箇所：るるパーク（杵築市山香町）

【概要】

るるパーク（大分農業文化公園）は、農業・農村文化等に関する学習機会の提供等を目的に平成13年に開園した。開園から20年以上を経過しており、施設の老朽化対策や新たな魅力の発信が求められていることから、今後コテージ・キャンプ場の整備等が予定されている。

調査では園内を視察し、これまでの取組や今後予定されている整備計画等について説明を受けた。

<主な質疑等>

- ・花が少ない時期等に人を呼び込む取組について
- ・公園の運営状況について
- ・体験農園の利用状況について



◆調査箇所：東部振興局、農林水産研究指導センター農業研究部果樹グループ、花きグループ

【概要】

東部振興局（管轄：別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町）、農林水産研究指導センター農業研究部果樹グループ及び花きグループにおける組織の概要や基盤整備事業の推進、新たな担い手の確保・育成、水産業の振興、温州みかんの省力化技術の開発及びホオズキの多様化戦略等の取組についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。

<主な質疑等>

- ・ナシ花粉の緊急輸入停止の影響と対策について
- ・ナシ以外の品目に係る花粉の需給体制について
- ・人口減少に伴う農業への影響について



◆調査箇所：キュウセツAQUA株式会社（国東市国東町）

【概要】

キュウセツAQUA株式会社は、平成28年からオリーブの栽培に参入し、生産・加工・販売を行っている。当該企業は福岡県内の企業であり、県外から参入した事例である。生産したオリーブオイルは国内外のコンテストで受賞するなど評価を得ている。

調査では圃場を視察し、これまでの取組や今後の展望等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・オリーブの収穫方法について
- ・オリーブ畑の管理体制について
- ・オリーブを植えてから収穫するまでの期間について

◆調査箇所：防災重点農業用ため池等整備事業 天神・西ヶ迫地区（杵築市大内）

【概要】

天神・西ヶ迫地区は、ため池の下流に人家や公民館等が点在しており、堤体が決壊した場合の被害が甚大と想定されたため、令和3年度から整備工事に着手し、令和5年度に完成した。

調査では現地を視察し、事業の概要や完成後の状況等について説明を受けた。

<主な質疑等>

- ・ため池内の土砂の撤去について
- ・ため池の管理者について
- ・事業における地元負担について

